

1. 福岡都市計画ごみ焼却場の変更（福岡市決定）

都市計画ごみ焼却場中、3号クリーンパーク南部工場を廃止する。

注）朱書きは旧を表す

名称		位置	面積	備考
番号	ごみ焼却場名			
3	クリーンパーク南部工場	春日市大字下白水	約 9.2ha	600t/日
—	—	—	—	—

理 由

本施設は、福岡市が整備・運営するごみ焼却場として、昭和52年に都市計画決定したものであるが、老朽化に伴って本施設を廃止したため、本案のとおり都市計画を変更するものである。

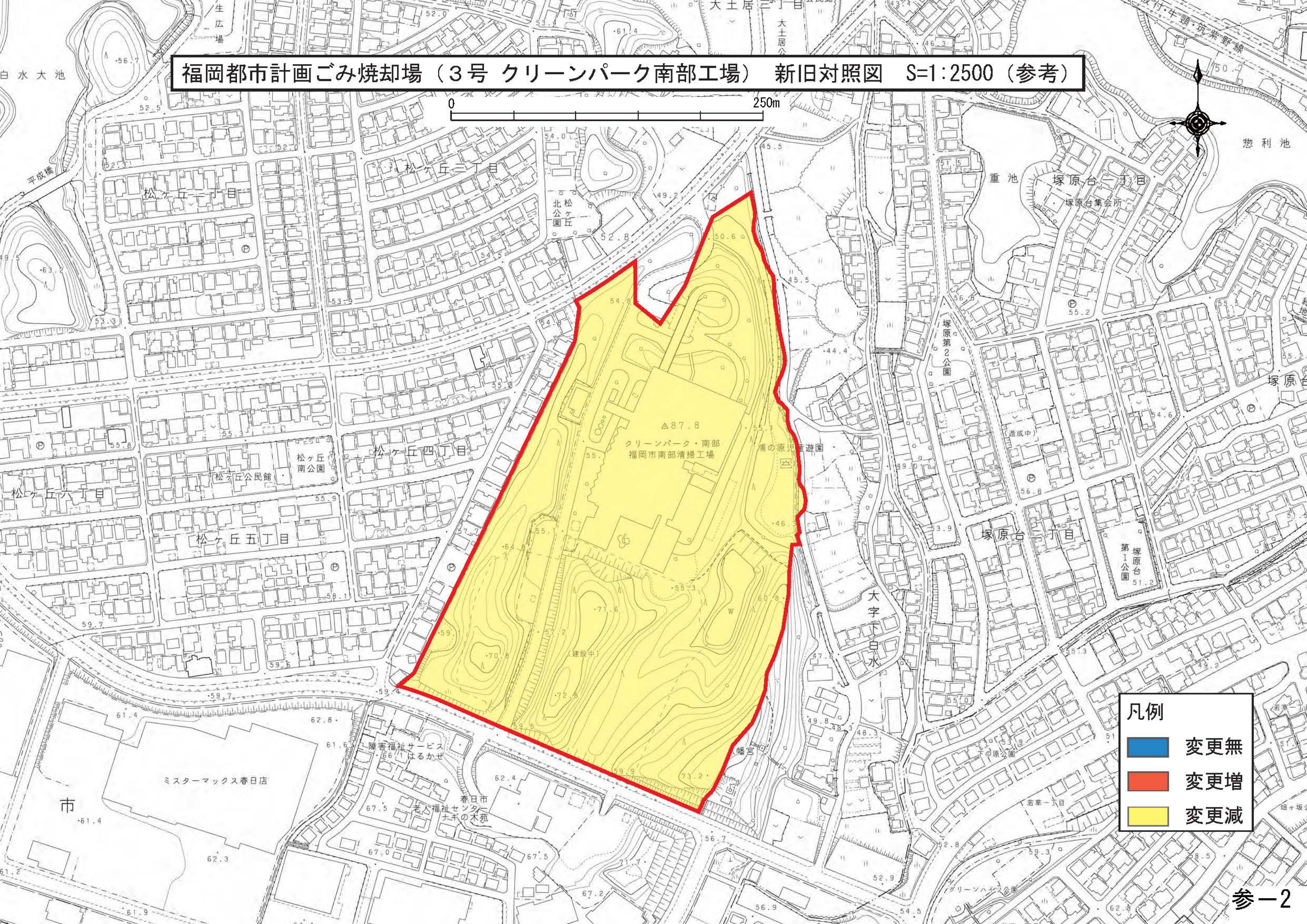
【 参 考 】

総 括 表

	変更前		変更後	
	箇所数	面積（ha）	箇所数	面積（ha）
ごみ焼却場	4	55.1	3	45.9

福岡都市計画ごみ焼却場（3号 クリーンパーク南部工場） 新旧対照図 S=1:2500（参考）

0 250m



- 凡例
- 変更無
 - 変更増
 - 変更減

福岡市南部工場の都市計画変更(廃止)について

参考資料

1 福岡市南部工場の都市計画変更(廃止)について

福岡市南部工場(クリーンパーク南部工場)は、福岡市のごみ量の増加に対応するため、福岡市の第3の清掃工場として、昭和52年に設置自治体である福岡市と立地自治体である春日市が都市計画決定を行っている。昭和56年より、福岡市の南部地域のほか、近隣の春日市、那珂川町のごみ処理を開始し、平成15年からは大野城市、太宰府市のごみも受入れ、34年間の運転を経て、老朽化のため、平成26年度末をもって稼働を停止し、平成28年度以降に、解体工事を行う予定になっており、今回福岡市が決定している都市計画の廃止手続きを進めるものである。

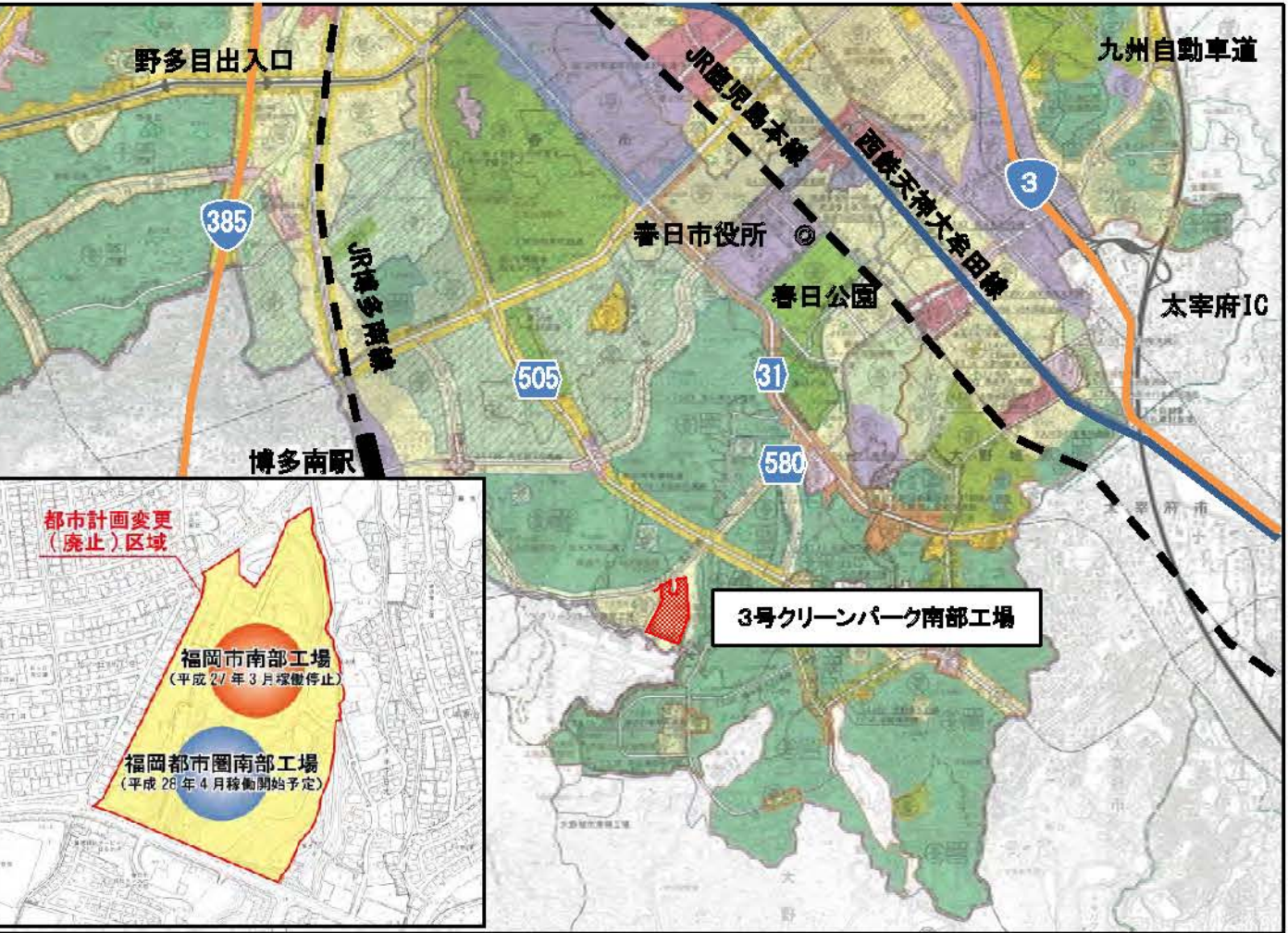
【都市計画の概要】

種類	都市計画ごみ焼却場	位置	春日市大字下白水
名称	3号 クリーンパーク南部工場	敷地面積	約9.2ヘクタール
都市計画決定日	昭和52年3月10日(平成8年1月8日 名称変更)		

【クリーンパーク南部工場 概要】

規模	600t(300t/日×2炉)	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
焼却炉型式	ストーカ式焼却炉		鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
発電能力	5,000kW	階数	工場棟 地上6階、地下2階
建築面積	約10,313㎡		管理棟 地上3階
延床面積	約26,025㎡	煙突	外筒:RC造、内筒:鋼板製
竣工	昭和56年3月		高さ80m、集合煙突方式

【福岡都市計画ごみ焼却場(3号クリーンパーク南部工場) 位置図】



2 福岡都市圏南部工場について

後継施設となる福岡都市圏南部工場については、春日市が名称変更の手続きを行った上で引き続き都市計画を決定することになっている。新工場の建設については、福岡市及び近隣3市1町から構成される福岡都市圏南部環境事業組合により進められており、平成27年12月から試運転を開始し、平成28年4月からの稼働開始を予定している。

【現況写真】

(H27.10月撮影)



【福岡都市圏南部工場 概要】

規模	510t(170t/日×3炉)	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
焼却炉型式	ストーカ式焼却炉		鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
発電能力	16,700kW	階数	工場棟 地上6階、地下1階
建築面積	約9,425㎡		管理棟 地上4階
延床面積	約19,019㎡	煙突	外筒:RC造、内筒:鋼板製
竣工予定	平成28年3月		高さ80m、集合煙突方式

3 今後のスケジュール(予定)

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
都市計画の手続き		●1/4~1/18 都市計画案縦覧 ●2/4 都市計画審議会		
福岡市南部工場	工場閉鎖作業			
	工事の設計・契約手続き	実施設計	契約手続き	
	解体工事			解体工事
福岡都市圏南部工場	新築工事	試運転	工場稼働(H28.4 供用開始)	